

編集後記

グローバルに激化する開発競争により、環境認識技術や運動制御技術が飛躍的に進化し、自動運転を実現する社会が現実味を帯びてきました。高度な運転支援技術を活用して実現する自動運転は、交通事故の抑制に加え、渋滞の緩和や解消、過疎地における公共交通機関の代替など、安全面のみならず環境や社会への貢献も期待されています。

一方、これまでドライバーが行っていた知覚・認知・判断・行動の一部または全部をシステムに委ねるためには、車載技術だけではなく、インフラの整備や行動心理学および社会科学面からの考察など、あらゆる面での取り組みが必要となります。

本年は「自動運転元年」とも呼ばれ、産官学を挙げた取り組みが加速しており、新しいモビリティ時代の到来を肌で感じております。このような環境を踏まえて、今回の特集のテーマを「自動運転を支える技術」としました。本号を通じて、様々な角度からの当社の運転支援技術開発への取り組みをご理解いただければ幸いです。

最後に、お忙しい中特別寄稿をご執筆下さいました菅沼准教授に、また自動運転に関わる幅広い技術に関する論文を査読し、多大なる尽力を頂きました加藤副委員長をはじめとする各編集委員および事務局各位、親しみやすい論文集を目指して表紙や口絵、フォントにまでこだわり構成を作り上げて頂きましたDPブランド推進室各位に心から感謝を申し上げて、編集後記に代えさせて頂きたいと思えます。

DP-Mobility IoT 推進室 室長 宮地 智弘

デザイン後記

読みやすく、デンソーらしい論文集を目指して、デザインを一新たしました。論文タイトルや見出しなど、各要素の役割をひとつひとつ見直し、大きさや色にメリハリをつけることで、得たい情報をすぐに探せるよう工夫しています。また、重要なポイントにデンソーのコーポレートカラーであるレッドを配し、英数字にオリジナル書体を使用することでデンソーらしい佇まいを作り上げています。表紙のデザインは、車同士・車と社会がつながり、安心安全で豊かな交通網を築いている様をイメージしています。

DPブランド推進室 松村 将, 森下 奈緒子

テクニカルレビュー 編集委員会

委員長	宮地 智弘 (DP-Mobility IoT 推進室)	委員	高平 幹樹 (ダントツ工場推進部)
副委員長	加藤 達矢 (情報安全事業G)		塩谷 武司 (先端研究部)
	伊藤 みほ (基礎研究1部)		金森 貴志 (走行安全技術2部)
委員	河村 秀樹 (EHV 機器技術2部)		平岩 伸次 (技術企画部)
	池田 哲見 (電子基板技術統括部)		宮崎 一彦 (トヨタ部)
	正垣 好郎 (ディーゼル噴射技術部)		小野田 隆 (知的財産部)
	清水 崇 (冷暖房開発2部)	顧問	田中 稔 (材料技術部)
	伊奈 充弘 (走行安全事業部)	事務局	柳沢 好伸 (技術開発推進部)

DENSO TECHNICAL REVIEW 2016 Vol.21

2016年11月30日発行

発行所 株式会社デンソー 〒448-8661 刈谷市昭和町1-1 発行人 技術開発推進部 野畑 嘉也
編集人 デンソーテクニカルレビュー 電話 0566-25-5942 FAX 0566-25-4953 印刷所 原啓印刷株式会社